学校番号	３０４

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	朝鮮文化Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新・好きやねん　ハングルⅠ						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・グローバル化する社会の中で，広い視野から国際理解を深め，社会の一員として国際協調の精神を養い，国際社会と向き合うことのできる人材となれるように努めてください。
・自国の文化や，韓国朝鮮語の背景にある文化に対する関心を高め，理解を深めようとする態度を養ってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
初級韓国・朝鮮語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	初級韓国・朝鮮語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深める。実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	韓国・朝鮮語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的，自律的に韓国・朝鮮語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う　　。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	韓国朝鮮語について	「韓国語」と「朝鮮語」 ハングルの仕組みと特徴	a:「韓国語」と「朝鮮語」について、正しく理解している。 b:「韓国語」「朝鮮語」について、正しく説明できる。 c:「韓国語」「朝鮮語」について正しく理解しようとしている。	・定期考査・小テスト	・定期考査・小テスト ・課題	・言語活動の取り組み ・課題
	文字と発音1～7	ハングルの仕組みと特徴 基本母音①、基本母音② 基本子音(初声) 基本母音と基本子音まとめ 濁る音(有声音化)	a: 基本母音・基本子音を正確に理解し、発音できている。 b: 基本母音・基本子音を正確に聞き取り、発音できている。 c: 基本母音・基本子音を聞き取り、発音しようとしている。	・定期考査・小テスト	・定期考査・小テスト ・課題	・言語活動の取り組み ・課題
2学期	文字と発音8～16	重母音(ヤ行) 重母音(ワ行) 激音 濃音 パッチム 連音	a:韓国朝鮮語の音を正確に理解し、発音できている。 b: 韓国朝鮮語の音を正確に聞きとり、発音できている。 c: 韓国朝鮮語の音を聞き取り、発音しようとしている。	・定期考査・小テスト	・定期考査・小テスト ・課題	・言語活動の取り組み ・課題
3学期	第1課	自己紹介「高校生です」 人や物について尋ねる 「何ですか？」 否定「～ではありません」 数詞「固有数字」「漢数字」 歌「チョンマル、サラヘンヨ」	a:自己紹介や人や物について尋ねる表現について理解できている。否定、数詞について正しく理解できている。 b: 自己紹介や人や物について尋ねる表現について活用できている。否定、数詞の表現を活用できている。 c:自己紹介や人や物について尋ねる表現を活用しようとしている。否定や数詞を理解し活用しようとしている。韓国語の歌に親しもうとしている。	・定期考査・小テスト	・定期考査・小テスト ・課題	・言語活動の取り組み ・課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度